

天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会  
新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン

◆新型コロナウイルスの影響による中止基準◆

1. 開催地の自治体が開催を認めないとき  
※感染防止や医療体制のひっ迫が懸念される場合など
2. その他新型コロナウイルス感染状況に対する十分な対策が取れないとき  
※医療体制の確保やスタッフの動員が困難な場合など

◆新型コロナウイルス感染症予防の基本方針◆

1. 出場チーム関係者の体調管理・検温の実施と報告
2. 関係者全員の事前の体調管理と報告、事後記録
3. マスクの持参、着用
4. 当日会場での検温の実施
5. 手指の消毒
6. 3密（密閉、密集、密接）の回避
7. 換気の徹底（室内や移動中の車内）

◆新型コロナウイルス感染症対策室の設置◆

1. 本大会における新型コロナウイルス感染症対策室を設置する。
2. 同じく新型コロナウイルス感染症対策責任者を置く。

新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 室	中国新聞社内 大会事務局 Tel.082-292-0601
感染症対策責任者	(公財) 日本陸上競技連盟専務理事 風間 明 (公財) 日本陸上競技連盟 Tel.050-1746-8410

**感染症対策（対象者：全員）**

◆会場における感染予防策◆

1. マスクの着用の徹底
  - ①チーム関係者、主催者・共催者、大会役員・来賓、協賛社、大会事務局、競技役員・補助員、警備員、コース整理員、警察、消防、報道関係者、設営業者などすべての大会関係者に常時マスク着用を要請する。
  - ②競技者には、競技中（ウォーミングアップ、クールダウンを含む）以外のマスク着用を要請する。
  - ③競技者の体を支持するなど直接接触する可能性があるスタッフはフェイスシールド、

手袋、ガウン（防護服）などを着用する。

## 2. ソーシャルディスタンスの確保

①会場では可能な限り他人との距離を確保し、必要以上の会話を避ける。

②受付など、対面での対応が必要な場所にはパーティションを設置する。

## 3. 手指の消毒場所の確保

①競技者の待機場所、大会役員や運営スタッフが滞留する場所には可能な限りアルコール等の手指消毒剤を用意する。

②布タオルは使用せず、使い捨てペーパータオルを用意する。

（※アルコール消毒液、ペーパータオル等の消耗品はスタート、中継所、フィニッシュなどに大会側が準備。マスクは参加者各自が用意する。ただし、大会側で緊急時に備えて予備のマスクを準備する）

## 4. イベントの中止・簡素化

①大会前日の「前夜祭」は中止する。

②大会前日の「開会式」、大会当日の「表彰式」は一般観覧を制限して実施する。

③大会当日、スタート・フィニッシュ地点を盛り上げる以下のイベントを中止する。

- ・全国のキャラクターが集う「ふるさとキャラクター応援団」
- ・地元の小学生が制作する、47チームを応援する「小学生応援メッセージのぼり」
- ・各中継所に向けて出発する前の競技者を間近で応援できる「競技者紹介」

## 5. その他

受付や会議、式典などで使用する物品はこまめに消毒する。

## ◆当日の医療体制◆

1. 医師らが医療班用車両でレースに随行する。異変があった場合には医師の指示に従う。
2. 当日の感染者発生に備え、医療用个人防护具（フェイスシールド、手袋、マスクなど）を準備する。

## 感染症対策（対象者：競技者・監督・コーチ・チームオフィシャル）

### ◆感染者、濃厚接触者、感染疑い者の参加・従事の可否◆

- ・原則として行政、学校や企業等の所属の対応方針を優先すること。

#### ① コロナの陽性が判明した場合の対応

症状のある場合は大会開催日の11日前（1/11）、症状がない場合は大会開催日の9日前（1/13）の時点もしくはそれ以降にPCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該ランナーは参加を辞退するまたは、主催者による出場権利の取り消しを行う。

#### ② 濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、7日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場を認めても構わない。

(厚生労働省：新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針)

◆感染症発生時の対応◆

1. 感染症対策室は、出場チーム関係者から発症の報告を受けた場合の対応方針を開催自治体と事前に検討する。
2. 大会終了後2週間(～2/5)以内に出場チーム関係者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本人かチームの代表者が大会事務局に速やかに連絡する。
3. 感染者が出た場合、開催自治体に連絡し、指示に従って協力する。
4. 感染症対策室は、自治体や保健所等と連携しながら、感染者の公表、その内容を決定する。情報の公表にあたっては、感染者に対して不当な差別及び偏見が生じないように個人情報保護に留意する。

◆大会前から終了後までの体調管理と感染症対策◆

1. 大会の1週間前(1/15)からの体調チェックおよび検温を実施し、各チームの代表者もしくは個人が管理する。
2. 各チームの代表者はチーム関係者の健康状態を確認し、大会前日に所定のGoogleフォームにて大会事務局に健康状態を報告する。
3. Googleフォームによる健康状態の報告をしていないチームは、出場を認めない。
4. 体調が不確かな人がいたときは、その場で検温を実施し、大会本部の医師の指示に従う。
5. 競技中を除きマスクの着用を義務とし、マスクをしていない人に対し注意を促す。手指の消毒の徹底を呼び掛ける。
6. 会場では、唾(つば)や痰(たん)を吐くことは慎む。
7. 大会終了後2週間の体調管理・検温を実施する。37.5度以上と確認されるなど体調に異常があった場合には、最寄りの保健所などの指示に従う。新型コロナウイルスなど感染症に感染した場合は、すみやかに大会事務局に連絡する。

◆レースの管理◆

1. スタート・フィニッシュ地点、中継所  
使用者が触れる場所については、こまめに消毒する。特に中継所の仮設トイレは、ドアノブ、レバーなど、こまめに消毒する。
2. ごみの処理  
飲み残し飲料や鼻水、唾液などが付着したごみは自己責任で処理(原則として持ち帰り)するよう周知する。
3. スタート前
  - ①待機テントでは、他の競技者、スタッフと距離が近くなるように呼びかける。
  - ②競技者が長く待機テントに滞留しないよう促す。
4. フィニッシュ後
  - ①速やかに競技者を指定区域へ移動するよう、スタッフが誘導する。
  - ②競技中、フィニッシュ後に倒れ込んだ競技者の対応は、防護体制を整えたスタッフで対

応する。

③レース終了後は、不織布マスクを配布し、手指のアルコール消毒、手洗いを促す。

#### 5. メンバー、記録の確認

メンバー、記録を掲示することによる密集を避けるため、ウェブでの確認を促す。

#### ◆バス移動◆

1. 車内の換気を徹底する。
2. 車内ではマスクを着用し、大声を出しての会話は控える。
3. 車内はこまめにアルコール消毒をする。

#### ◆宿泊◆

1. 部屋は各ホテルの感染症対策マニュアルに準じて、消毒、換気などの対応をする。
2. 選手村内でもマスクを着用する。
3. エレベーターのスイッチや階段の手すりなど、不特定多数が触れる箇所については可能な限り素手で触れないようにする。素手で触れた場合は、できるだけ速やかに手洗いかアルコールで手指消毒を行う。

#### ◆食事◆

1. 可能な限り間隔を確保する。食事会場では、入口で検温・手指消毒を行い、席の間隔を空けてジグザグに配席する、各チームの入場時間を設定して入れ替え制とする、などの対応をとる。
2. 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらすようにする。
3. 宿泊施設以外で飲食をする場合、感染対策を施した店舗の利用や、多人数での飲食は避けることを要請する。利用した店と人数を把握しておいてもらう。
4. 食事中の会話はできるだけ避ける。やむを得ず会話をする場合は不織布マスクの着用を要請する。
5. 大会当日の監督・コーチ控室への入場は2名までとする。

#### ◆ミーティング◆

1. 対面にて実施する場合、マスクを着用し、部屋の換気に留意する。
2. 可能な限り間隔を確保して着席する。
3. 限られた人数またはオンライン会議の利用を推奨する。

### **感染症対策（対象者：スタッフ）**

◆大会スタッフ（大会役員・来賓、競技役員・補助員、警察、消防、警備員、コース整理員、大会事務局、協賛社・広告会社、設営・式典業者、会場スタッフなど）の対応事項◆

1. 感染予防対策を目的に個人情報を取得する必要がある場合、健康に関する情報は要配慮個人情報にあたるため、Google フォーム・体調管理チェックシートにて必ず同意を取る。
2. 大会の1週間前からの体調チェックおよび検温を実施し、各団体の責任者が管理する。異常があった場合は、感染拡大防止のために業務従事の辞退を求める。

3. 大会終了後2週間は、各々が体調チェック・検温を実施する。37.5度以上と確認されるなど体調に異常があった場合には、最寄りの保健所などの指示に従い、新型コロナウイルスなどの感染症に感染した場合は、すみやかに大会事務局に連絡する。

### **感染症対策（対象者：観客）**

#### **◆観客への対応◆**

1. 沿道での観戦・応援は声援ではなく、拍手を呼びかける。
2. スタート、フィニッシュ地点付近では、フィジカルディスタンスの確保、スタッフによる滞留禁止の呼びかけなどを行う。

### **感染症対策（対象者：報道）**

#### **◆メディア・取材への対応◆**

1. 主催者の対応事項  
報道各社向けの大会取材要項に、メディアの履行義務事項（開催1週間前および終了後2週間の体調チェック・検温の自己管理、マスク着用、手指消毒や咳エチケットの順守など）を記載し、事前申請を受け付ける。
2. 取材人数  
人数の上限を設定し、事前に報道関係各社に通達する。
3. 取材方法
  - ①報道受付では、取材者全員の体調管理チェックシートの提出による体調報告の有無を確認後、ADカード、ビブスを交付する。
  - ②取材・インタビューは、取材者とチーム関係者のフィジカルディスタンスを確保し接触を防ぐ。
4. 撮影エリア  
設定した撮影エリア内でのフィジカルディスタンスは、カメラマン同士で調整するよう要請する。
5. 昼食  
大会当日の昼食配布は行わない。各自別々に昼食をとることとする。

#### **【参考資料】**

「ロードレース開催についてのガイダンス」（同）

[https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202210/17\\_134628.pdf](https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202210/17_134628.pdf)